

進路だより

第 06 号

令和 6 年 7 月 19 日
新座市立第二中学校
第 3 学年進路指導部発行

いよいよ夏休みです。進路決定において、勉強に時間を割くことも大事ですが、説明会などに足を運び学校の雰囲気を感じることと同じくらい大事なことです。現在考えている進路希望やこれからの学習（夏休みを含め）について、もう一度よく考え、ひとりひとりが効果的で充実した夏休みを過ごしてくれることを願っています。

I 夏休みの中の進路の取り組み

(1) 学力向上の絶好のチャンス

夏休みは、不得意科目の克服に向けて、時間をかけてじっくり学習に取り組める良い機会です。そして、多くの人にとっては、受験勉強のスタートとなります。この夏休みの頑張りは、学力アップにつながっていきます。次のことを参考にして、各自が計画を立て、より充実した夏休みになるように頑張りましょう。

◇自分が勉強するときを使う机を整理して、計画を立てることからスタートしましょう。

◇各教科の 1・2 年の復習を夏休みの間に完了させるようにしましょう。

(教科書や Qubena、学習テキストなどを使って計画的に)

◇問題量をこなして、基本的な内容だけでなく応用力もつけていきましょう。

◇一日、最低 6 時間、夏休み中に、

合計 6 時間 × 40 日 = 240 時間以上 の家庭学習に取り組みましょう。

※ 一気にやろうとすると大変なので、朝 2 時間、昼 2 時間、夜 2 時間と分けるのがおすすめ。

(2) 進路希望先についての調査・研究を

夏休み中、数多くの学校で体験入学や学校説明会・見学会を実施しています。二中の 3 年生も多数参加すると思います。自分で足を運び、目で見たり、耳で聞いたり、直接体験する中で進路について考えていくことは、とても大切なことです。積極的に目的意識を持って参加してください。学校をじっくり調査・研究することができるチャンスです。高校見学などに行くときの注意事項は進路だより第 04 号でも伝えたとおり、訪問した学校の先生との対応は、すべて面接と考えて行動しましょう。服装は制服、上履き・筆記用具・生徒手帳を持ち、時間に余裕を持って行きましょう。特に制服は学校で決められた正しい着方をしましょう。また、友達と一緒に行く場合、つい騒いでしまったということがないように気をつけましょう。

(3) 将来の進路について保護者の方とじっくり話し合っ

夏休みは、保護者の方や親戚の方をはじめとした、大人たちとじっくり話ができる時期です。人生経験を積んだ人たちにいろいろな仕事の話聞いてみるなど、相談をしてみましょう。

『進路』『勉強』といわれると逃げ出したくなる気持ちを持つ人もいます。この壁から逃げてしまうのではなく、自分を鍛え上げるチャンスと前向きにとらえ、頑張ってください。

(4) 夏休みはこんな点にも注意！

・朝ご飯は、家の人と一緒に食べるようにしましょう

⇒一日は、朝で決まる。一日のスタートをきちんとすることが大切です。

・家庭の仕事を必ずやろう

⇒受験生も、家族の一員です。家族としてやるべきこと・貢献すべきことは、試験の直前であってもしっかり行うことが大切です。

・パソコン・スマホ漬け、冷蔵庫漬けにならないように注意しよう

⇒暇さえあればパソコンやスマホをいじり、そして冷たいジュース・アイス類を摂取しては、集中力できず、頑張ろうとする意欲もなくなり、さらには体調も崩してしまいます。外に出て、運動をして体を動かすことにより、心身ともにリフレッシュできます。

・色々な誘惑に注意しよう

⇒夏は危険な誘惑が多い時期です。「これくらいは、いいだろう。」が命取り。特にお祭りなど、遅い時間の帰り道に注意し、事件・事故・トラブル等には近づかないこと。

～連絡～

(1) 第1回三者面談について

7月22日(月)～8月2日(金)に、生活・学習・進路に関しての三者面談を実施いたします。進路に関しては、①現在の具体的な進路希望について、②進路希望に対する見通しや今後の学習について、③希望先への体験入学・見学会・説明会への参加予定について、等が話題の中心になっていきます。時間は短いですが、より充実した面談になるよう、ご家庭で十分な話し合いの上、三者面談に臨まれますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 『令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項・選抜要領』および『令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準』が発表されました。詳細は、埼玉県教育委員会のホームページ内の「埼玉県公立高等学校入学者選抜情報→令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報」に掲載されています。また、『令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の出題の基本方針』が5月に発表されました。あわせてご確認ください。

～令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の出題の基本方針～

- (1) 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に基づいて出題する。
- (2) 基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する。
- (3) 各教科の目標に照らして、受検者の学力を十分に把握できるように、出題の内容及び出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する。

～令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査の実施教科及び出題範囲～

- (1) 実施教科 国語、社会、数学、理科、英語の5教科とする。
- (2) 出題範囲 中学校学習指導要領に基づいて出題する。なお、英語には、リスニングテストを含む。

～令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学校選択問題実施校～

昨年度実施の22校で増減はありません。

(3) 埼玉県内の私立高等学校等へ進学した場合の補助金(国の就学支援金、埼玉県の父母負担軽減事業補助金、奨学のための給付金)に関する案内です。これらはいずれも**返還の必要がない補助金**です。進路選択のときのひとつの資料としてご活用ください。なお、**申請手続等は、入学した高等学校で行う**こととなります。

また、埼玉県の奨学生予約の募集に関しては、例年11月頃中学校を通して案内を連絡しています。詳細は埼玉県のホームページをご覧ください。

(4) 令和6年度埼玉県公立高等学校学校説明会実施予定日等一覧表が掲載されました

県立総合教育センターのホームページに、各地区の全日制高校及び、定時制・通信制高校の説明会・体験入学等の一覧が掲載されています。今後、変更等が出る可能性もありますので、最新の情報に関しては各高等学校のホームページにて確認をお願いします。

県立総合教育センター内掲載ページ：<https://www.center.spec.ed.jp/nyuushi>

(5) 南部地区中学校長会学力検査(実力テスト)について

3年生では、学力検査を3回実施します。第1回学力検査は、9月3日(火)に国語・数学・社会・理科・英語の5教科で実施します。実施のねらいは、①自分が今まで学習したことがどれくらい理解できているか知ることと同時に、自分の不足している部分(弱点)について知る。②学力検査の結果を進路選択の資料の一つとする。テストの範囲は、以前配布した南部地区中学校長会学力検査出題単元表(3回分)からとなります。